

新アストロカー「新型ジムニー」

田中直樹

昨年、非情なる最後を遂げたランエボワゴンの後継となる新しい車が（色々とありましたが）やっとやって来ました。



この夏“20年ぶりの”フルモデルチェンジとなった、スズキの新型ジムニー（JB64W）になります。

巷では納期が何と1年を超えている（普通車タイプのシエラに至ってはまさかの2～3年。元々生産台数の少ない車ですからね。）スーパー人気ぶりだそうです、運がいいの

か、発表早々に予約したのが効いたのか、想定よりかなり早く成約から一か月弱で納車することが出来ました。

新しい車に求めたのは以下の通り。

- 1：最低限の積載量（※基本人を乗せるのは考えてませんが、人一人車中泊くらいは出来れば……。あと望遠鏡と釣り道具が問題なく乗るかどうかな。）
- 2：走行性能（特に林道や冬の山道などを問題なく走れる走破性。4WDは必須。）
- 3：低コスト性（燃費、維持費等も含む。出来れば普通車にしたいところだが、金がないのでその辺り軽自動車ならマスト。上記の走行性能との兼ね合いで、MT車が理想。）

…をベースに考えると、結局ジムニーしか残らない訳でw まさかのジムニスト入門。

約一か月ちょっと乗ってみた感想や巷のウワサをまとめてみた所としては、「**名車になるわコレ**。」そもそもジムニーは名車もいい所な訳ですが、正直、これまでのモデルと比べても上位互換なのは間違いないです。ハイ。

と言う訳で、詳しくこの車を見ていきます。

1：『積載量』



ジムニーは基本4人乗りですが、後席は正直オマケ扱いなのがこれまでの常識でした。

（2ドアですし。）しかし、乗り降りだけを別にすれば、この型では大人二人問題なく乗れるスペースはあるようです。

まあ、僕は基本後席シートは倒して荷物スペースにする予定ですが。

写真は、荷台に観望会セット（VMC200L 鏡筒+SXP 赤道儀他）を乗せた所。流石にエボワゴンと比べると狭苦しい印象はありますが、まあ問題はないかと。

ちなみに、後席シートを倒すと完全フラットになります。実はここまで荷物を積みやすくなったのは新型ジムニーが初だったりするようです。完全フラットなので、前席も倒せば、車中泊も問題なくできるみたい。

あと、一番長い 7ft7in のバスロッド（釣竿）も何とかそのまま載ったので、釣りに行くのも安心。

2：走行性能

まあこれは前評判が最強なので、今更と言ったところ。

オフロード車として世界 5 本の指の内にも入る天下のジムニーですから、特に気にするところはないでしょう。新型ではブレーキ LSD コントロールなどの電子制御も入ったので、さらに走破性が上がっているようです。

実際に走らせた印象としては、2500 回転からトルクがしっかりと出るので、2500 回転以下にならなければ案外山道もしっかり登ります。（スピードは出ませんがねw その辺りはやっぱり軽自動車。）5MT 車を選んだわけですが、ギアを適切に入れて動かす感覚はとても楽しく「車を動かしている」感は最高です。

こうなると、雪道を走らせたらどうなるか冬が楽しみなところ。

（スタッドレスとチェーン買わなきゃ・・・。）

ちなみに、デュアルブレーキサポートとドライブレコーダーはちゃんと付けました。ハイ。

3：燃費

近頃の車選びは「燃費」押しがデフォですが、そもそも新型になってもジムニーは燃費云々の車ではありません。（アイドリングストップすらない）が、やっぱり気になる実燃費。

カタログスペックでは『16.2km/L（5MT・WLTC モード）』ですが、自宅から西はりま天文台へのルート(約 50km)では、最低でも 15km/L は出ているようです。まあ信号などの少ない郊外コースではありますが、途中山道登ったりと言うのもあるのでかなり良好な方ではないかと。

ちなみに高速は（車載メーターを信じるなら）約 18km/L とかなり伸びている印象でした。

（自宅から西宮まで。姫路 BP から阪神高速経由ルート。）

基本郊外しか走っていませんが、市街地走行でももしかしたら 12~13km/L くらいは行くのかもしれない。

結論：ジムニー最高

デザインもかつての堅牢なイメージを継承しながら、かつ最近のスズキらしいポップな感じもあるので、女性人気も出てきているみたいです。まあ、その中に女性が泣いて逃げ出すようなキャラクターを潜めてるのがこの車なんですけどね。